

質問書に対する回答

東日本高速道路株式会社 北海道支社
支社長 田中 直樹

(工事名) 帯広管理事務所管内 ETC設備更新工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	参照する年度仕様について明記がありません。各機器に適用する年度仕様をご教示頂けませんでしょうか。	適用する年度仕様は、特記仕様書 P1 1-3 「適用する共通仕様書及び標準仕様書等」に記載のとおりです。
2	交通規制については規制箇所毎の回数明記がございませんのでご教示頂けませんでしょうか。	入札参加者にて施工計画を策定のうえ、規制日数を算定し積み上げを行ってください。
3	本工事の各料金所で更新・新設する料金所サーバタイプ3については、すべて新設する料金所サーバタイプ2と接続される想定で宜しいでしょうか。	ご認識のとおりとなります。
4	車両検知器（タイプ1）について、金抜設計書では3.0m：4式、3.5m：5式となっておりますが、図面 A-09 の数量表では、3.0m：3式、3.5m：6式となっております。金抜設計書を正として宜しいでしょうか。	図面 A-09 に記載している各料金所毎の数量が正となります。これらの数量は金抜設計書と合致しています。
5	池田 IC にて更新される料金所サーバタイプ3は金抜設計書では1式となっておりますが、1式の内容は「均一用（本別方面）1台と対距離用（帯広方面）1台の構成」との認識で宜しいでしょうか。	ご認識のとおりとなります。
6	特記仕様書 3-4 (8) 車線監視制御装置に表示されるガイダンスをプリンタから印刷できる機能を有することとなっておりますが、印刷が必要な画面の指定は御座いますでしょうか。（メインメニュー画面、車線状態表示画面等）	ガイダンスが印刷される機能を有することとし、画面の指定はありません。
7	特記仕様書に収受員研修の記載がありませんが、可否をご教示願います。又、必要な場合は、各料金所1回ずつを想定しておけば宜しいでしょうか。	収受員研修は、特記仕様書 P10 1-25 「講習会の実施」に含みます。回数は入札参加者にて必要回数を算定し積み上げを行ってください。

番号	質問事項	回 答
8	特記仕様書及び金抜設計書には路上安全講習の記載がありませんが、不要という事でしょうか。又、必要な場合は、設計変更の対応で宜しいでしょうか。	安全対策に関する費用は諸経費に含まれており、必要と想定される場合は計上してください。
9	占冠 IC、トナム IC、十勝清水 IC、芽室 IC、帯広 J C T の金抜設計書及び設計図では、仮設設置の対象が UPS 入出盤のみとなっていますが、蓄電池盤と UPS 盤は不要でしょうか。必要となった場合は設計変更の対応で宜しいでしょうか。	当初発注における仮設設置は、ETC 設備の運用に最低限必要となると想定される設備を対象としており当該料金所における蓄電池盤、UPS 盤の仮設は不要です。監督員と協議の上、施工計画上で仮設設置が追加が必要と判断される場合は設計変更の対象といたします。
10	特記仕様書 3-13-2 UPS 異常信号入力による閉鎖中表示機能の記載がありますが、UPS 異常信号を入力せずとも車線サーバへ通常入力される UPS シャットダウン信号によって、車線表示板が「閉鎖中」に切替わる（路側インターフェース集約部経由）仕様であれば、本機能は充足されていると解釈して宜しいでしょうか。	特記仕様書 P38 3-13-2「UPS 異常信号入力による閉鎖中表示機能」に記載のとおり、インターフェース集約部を介して出力される接点信号を監視する仕様であることから、ご質問いただきました仕様では機能充足いたしません。
11	特記仕様書 P28 3-6 発進制御機(7) 「保守用扉は、通行する車両に正対すること」とありますが、保守員様が車両と正対する（安全側で作業可能）＝車両進入側から見て奥側に扉があると考えて宜しいでしょうか。	ご認識のとおりとなります。

以上